

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成29年12月15日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

あなたの街は、和菓子派？洋菓子派？

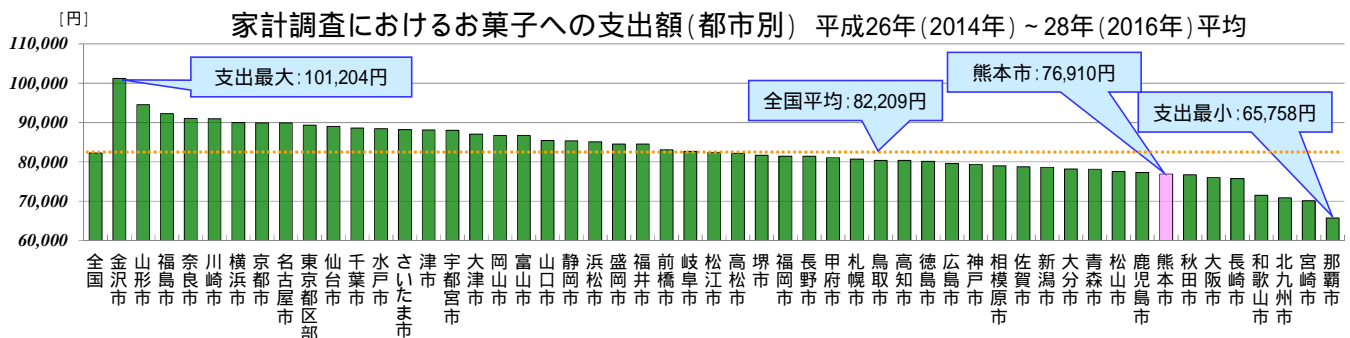
～家計調査に見る各都市のお菓子の人気傾向～

日本各地にはおいしいお菓子がたくさんあって、お菓子に関する家計の支出もさまざまです。和菓子好きの街もあれば、洋菓子が好評の街も。それぞれの街にどんな傾向があるのでしょうか。今回は家計調査結果から、各地のお菓子の人気動向を探ってみます。

総務省統計局では、毎月、全国約9千世帯を対象に家計調査を実施しています。この調査では、各世帯がどのようなものに、幾ら支出し、収入や貯蓄・負債などにより、それらがどのように変化するか把握し、政策の立案や評価の基礎資料に活用されています。

都道府県庁所在地及び政令指定都市(合計52都市)の家計の支出ランキング(平成26年(2014年)～28年(2016年)平均)が掲載されています。この中から、都市別のお菓子への支出動向を見てみましょう。

まず、二人以上の世帯におけるお菓子への支出額を見てみましょう。全国平均の年間支出額 82,209 円に対し、最大の金沢市では 101,204 円(全国平均の 123%)。最小の那覇市では 65,758 円(同 80.0%)。お菓子への支出額を見ても、都市ごとの違いがみられます。ちなみに熊本市の支出額は 76,910 円(同 93.6%)です。



(出典) 総務省統計局 「家計調査(二人以上の世帯) 品目別都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング(平成26年(2014年)～28年(2016年)平均)」 (<http://www.stat.go.jp/data/kakei/5.htm>)に掲載の「菓子類」を加工して作成。以下同じ。

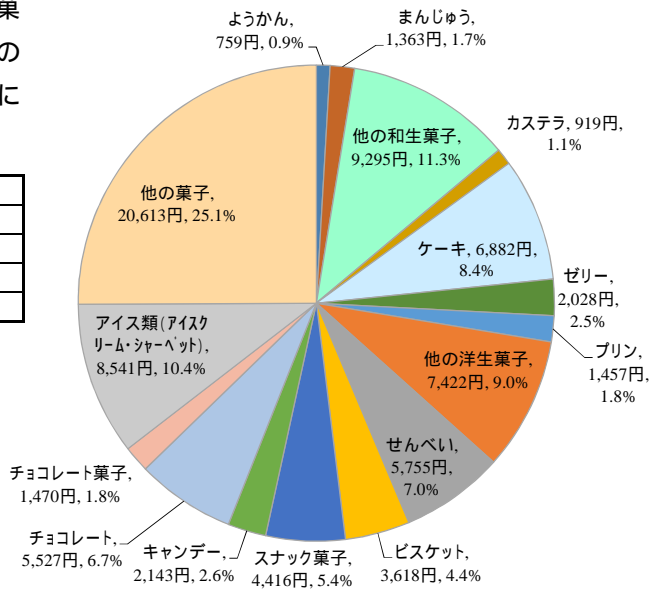
続いて右のグラフは、二人以上の世帯の全国平均における、お菓子ごとの支出額(円)を、支出総額に占める割合(%)として示したものです。グラフで見ると、家計調査では、お菓子を以下の16種類に分類しています。

ようかん	まんじゅう	他の和生菓子	カステラ
ケーキ	ゼリー	プリン	他の洋生菓子
せんべい	ビスケット	スナック菓子	キャンデー
チョコレート	チョコレート菓子	アイスクリーム・シャーベット	他の菓子

グラフでは例えば、ようかんへの支出額(759円)は、お菓子への支出総額 82,209 円中の 0.9%とみることができます。

お菓子の価格には、駄菓子屋で買える身近なものや、専門店では手に入らないような高額なものもありますが、右のグラフに示すような支出額の大きさが、だいたいの人気の傾向を反映していると見ることができます。

全国平均のお菓子別の支出額及び割合



ところで、各都市におけるお菓子ごとの支出額は、全国平均の支出額と、傾向が一致するのでしょうか。一例として、全国平均と熊本市とで、お菓子への支出額を比較してみました。下表では16種類のうち一部を掲載します。

支出額(円)	総額	ようかん	まんじゅう	他の和生菓子	カステラ	ケーキ	ゼリー	プリン	他の洋生菓子	...	他の菓子
全国平均	82,209	759	1,363	9,295	919	6,882	2,028	1,457	7,422	...	20,613
熊本市	76,910	747	1,877	11,475	678	7,687	1,981	1,214	6,542	...	15,318
差額(円)	5,299	12	514	2,180	241	805	47	243	880	...	5,295
差額の割合(%)	6.5	1.6	37.7	23.5	26.2	11.7	2.3	16.7	11.9	...	25.7

興味深いことに、熊本市のお菓子への支出額は、総額で全国平均に比べ6.5%も下回っているのに対し、「まんじゅう」で37.7%、「ケーキ」で11.7%、全国平均より支出額が多く、人気に違いがあるようです。

そこで、前ページの円グラフと同様に、熊本市のお菓子ごとの支出額と割合を円グラフで描いてみると、右のようになりました。前ページの円グラフとは異なる傾向が見られるので、別の観点から分析を加えてみましょう。

ここでは、それぞれのお菓子ごとの支出額と、全国平均の支出額とを、比率で表すように、レーダーチャート形式で可視化してみます。すなわち、お菓子ごとに、支出額の全国平均を100(%)と置いて、熊本市の支出額の比率をパーセンテージで表すことによって、どのお菓子が好まれているかを視覚的に分析するものです。「ようかん」を例にとると、

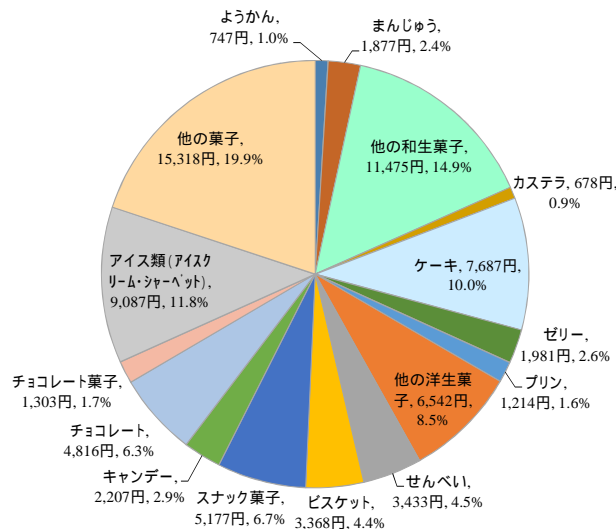
$$(熊本市) 747(円) \div (全国平均) 759 円 \times 100 = 98.4 (\%)$$

のように数値化したグラフになります。

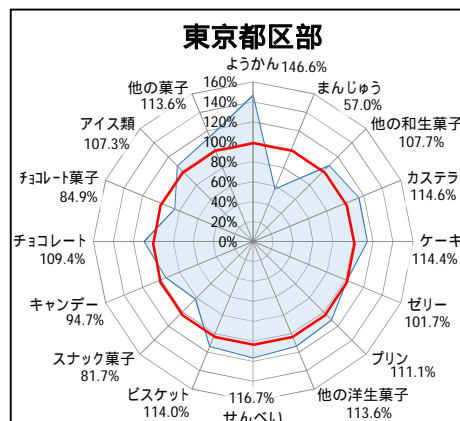
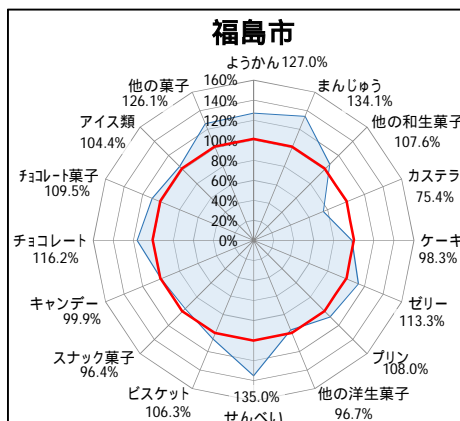
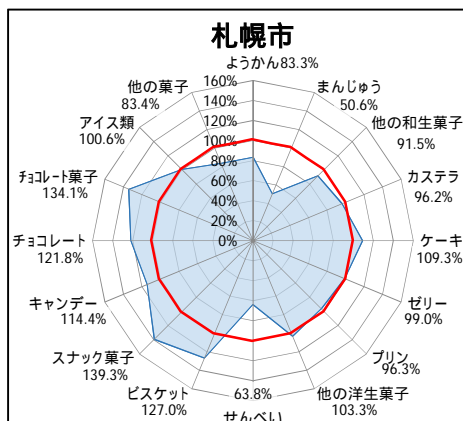
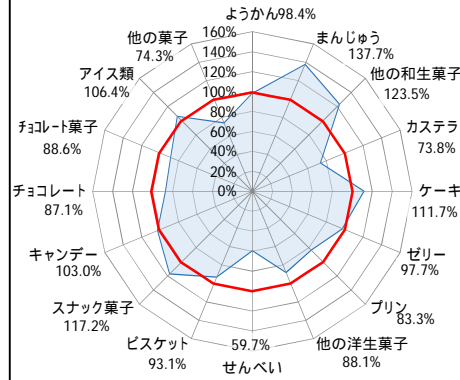
結果は右の図のようになりました。熊本市では和菓子が人気を博しているのか、「まんじゅう」、「他の和菓子」への支出額が全国平均よりも高いことが読み取れます。全体を俯瞰すると、熊本市では「まんじゅう」や「ケーキ」のような柔らかいものや、「スナック菓子」などを好む傾向がありそうですね。

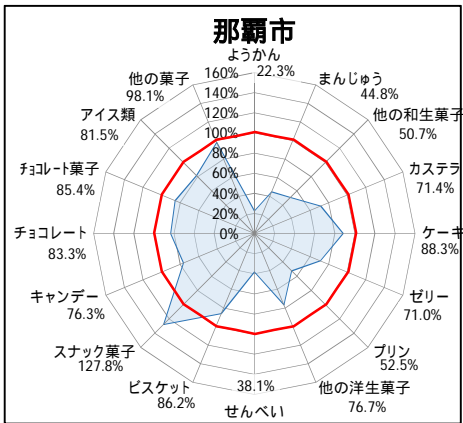
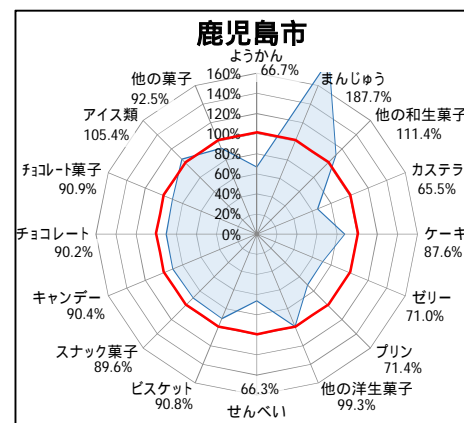
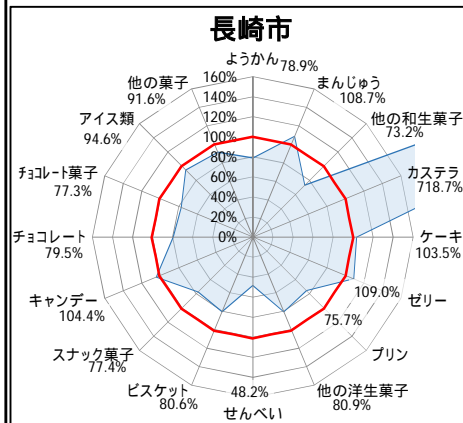
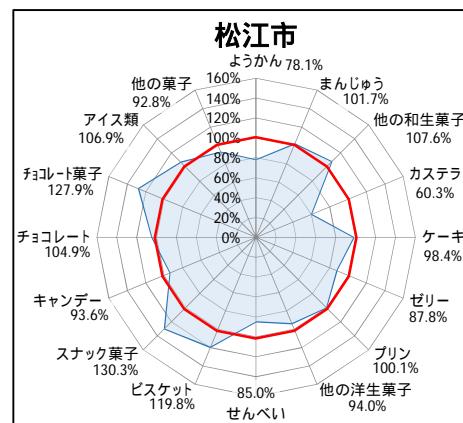
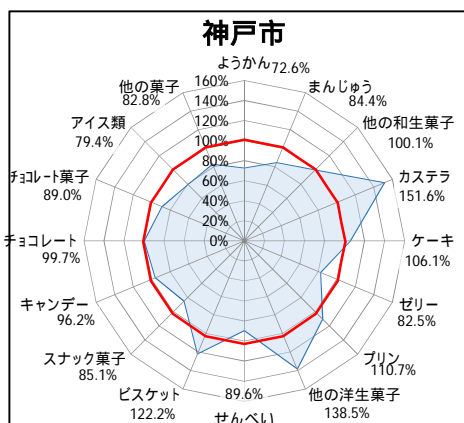
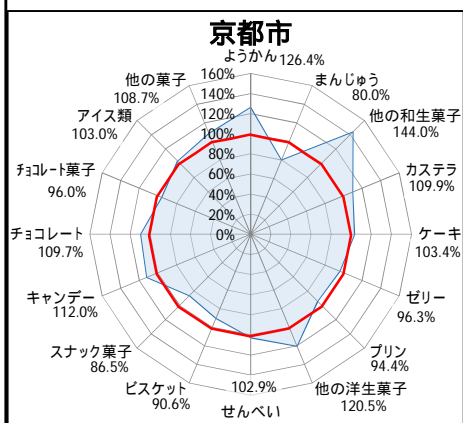
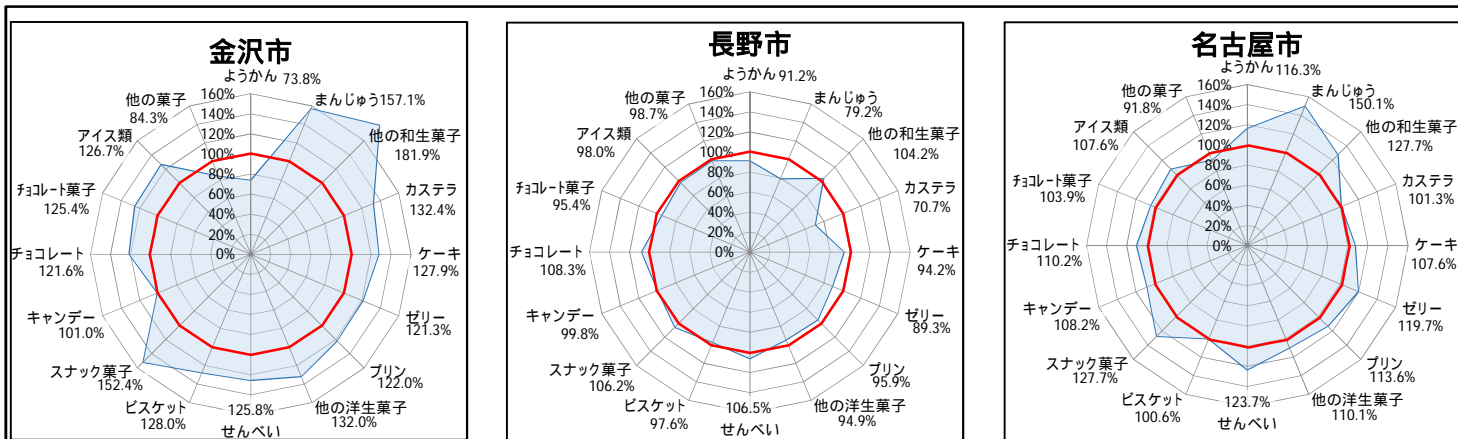
さて、家計調査では、日本全国の52都市のデータをとりあつかっていますので、このようなレーダーチャートを他の都市についても描くことができます。ページの都合、すべてを図示できませんが、以下、一部の都市について、お菓子別の支出傾向をレーダーチャートでお見せします。

熊本市のお菓子別の支出額及び割合



熊本市のお菓子別支出傾向





いかかでしょう。和菓子の中でも「ようかん」、「まんじゅう」、「他の和生菓子」のそれぞれに好みがかかれたり、「ビスケット」、「スナック菓子」、「チョコレート菓子」のようなスーパーなどで手軽に買えるお菓子に好みが集まる都市もありますし、また特定のお菓子が突出して好まれる都市も見られます。このように、それぞれのレーダーチャートから、各都市に住む方々のお菓子に対するさまざまな人気の傾向が読み取れると思います。

今回は、一般世帯のお菓子への支出を題材に、レーダーチャートを使い、それぞれの都市の傾向を可視化してみました。その他のデータを題材にしても、傾向や特徴が比較できるグラフが作成でき、いろいろな分析への応用が可能になると思います。

今回題材としたお菓子についても、自家で消費する分なのか贈答用なのかといった用途別データを加味すると、違った傾向が見られるかもしれません。

熊本県の統計情報は

「https://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297」をご覧ください。

次回の統計アラカルトは、1月中旬に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話：096-333-2174 / F a x : 096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計調査課 Facebook

https://www.pref.kumamoto.jp/kiji_15237.html?type=top